

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	～あなたの食べたものが、あなたになる～小麦から学ぶ食農育プロジェクト
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 F.O.P 090-8023-5302 (杉浦)
事業区分	(3)教育、文化の振興 (6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	539,000 円 (うち支援金 : 431,000 円)

#### 事業内容

- ①1 万年前から食されてきたといわれる小麦を知るため、1年を通して生育に合わせた農業体験と小麦や品種の特性を学ぶワークショップ開催。講師は過去 20 種類の小麦を栽培し、料理に合わせた品種を研究してきた農業者と料理人、パティシエ。○コロナ感染拡大の状況に合わせて、少人数での農業体験・オンライン配信での講座も行った。
- ②中川村村内の焼き菓子屋さん3店舗に、3種の小麦の特性に合わせた焼き菓子を研究していただき、村内ショッピングセンターにて特別販売。③特別販売会場にて、小麦の栽培の様子、ワークショップの様子などを展示④「小麦の唄」のCD配布も行った。

#### 事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- ①小麦の品種の違いや、生産者の苦労など知らなかった参加者も来れなかった人も、かなり興味を持ってくれた。
  - ②1時間も経たない間に 100 個完売し、大盛況だった。
  - ③④展示も楽曲も好評で sns にも皆さんが「小麦のことをあらためて考えた。食について改めて考えた。」など感想を投稿してくれた。数日後も、車で曲を聴いていて子供が覚えたとか、村内のショップでも流してくれるなど広がりを実感できた。また、この体験から何人か実際に耕作放棄地で小麦栽培を始めたり、地元の生産者から小麦を買うようになった人も増えた。

#### 今後の取り組み

- ※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。
- 今後も参加を呼びかけながら小麦栽培を行っていく。
  - コロナ感染拡大状況を見ながら、落ち着いてきたら、小麦料理についてのワークショップもおこなっていく。
  - 耕作放棄地での小麦栽培の呼びかけ。アドバイス。
  - 村内の保育園などに、地元産の小麦で作ったおやつを提案する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



種まき体験の様子

#### 【目標・ねらい】

- ①小麦が重要な穀物と改めて認識する。
- ②地域の生産者と販売者と消費者をつなげ地域活性化を高める
- ③④小麦の更なる認知

#### ※自己評価【 A 】

【理由】 コロナ過で対面ワークショップは難しかったけれど、参加方法や認知の方法に工夫し、最初の予想以上の反響をえられた。(当初の認知数の 30%増)